

鈴鹿の風 永戸 孝之 議員

南部地区消防力適正配置調査事業について

(質問) 次期総合計画のための市民アンケート調査で、南部地区は他地区に比べ、定住意向調査の項目全てで、最低値となった。南部地区では、命を守る消防車・救急車の到着時間が平均を上回り、地域からも、南部消防署南分署の建設要望が出されている。「消防力適正配置調査事業」の調査内容と結果、今後の対応はどうなるのか。

(答弁) 消防署の老朽化や道路網・防災面の条件などの変化を基に、消防力を検討し、より適正な署所配置でサービス向上や消防効率化を目指して調査を実施。過去の火災・救急・救助データを電算処理し、発生頻度と管内の走行時間、一定時間内の到着比率を算出し、運用効果、適正配置を算定。結果は早急に公表し、新たな整備方策検討に活用していく。

その他の質問

- 南部地区の通学路安全対策について
- 男女共同参画社会の実現に向けて

日本共産党 石田 秀三 議員

鈴鹿市の平和行政について

(質問) 今年は戦後70年、被爆70年、および鈴鹿市が非核平和都市宣言を行って30周年という節目の年である。この節目に当たって、鈴鹿市としての取り組みについて、また鈴鹿市は「軍都」として出発したという歴史的な事実に基づいた平和行政の進め方を伺う。

平和行政に取り組む上で、宣言文で明記している「われわれは、世界で唯一の被爆国民として、永久に戦争の放棄を誓った国民として」のとおり、憲法の平和主義を守ることを基本にしなければならない。市長の平和憲法への認識を問う。

(答弁) 今年は節目の年として長崎市と「2015平和への祈り展」などに取り組む。軍都としての歴史も伝えていく。昨年9月の憲法第9条は変えてほしくないとの見解は、今も変わらない。

日本共産党 森川ヤスエ 議員

子ども医療費中学卒業まで無料に

(質問) 義務教育の間、病気になってもお金の心配をしないで、子どもを病院にかかれるようにしてほしいという保護者の切実な願いに応えて、医療費を中学卒業するまで無料にするように求める。全国的に無料化の流れは進み、三重県下でも市長初就任時は29市町のうち14市町であったが、平成27年度は23市町79%へ広がって

いる。北勢地域5市の中では鈴鹿市だけが未実施となっており、早急に中学卒業まで無料化の実施を求める。

(答弁) 本市では平成24年1月より中学生の入院分は補助の対象となっている。中学生通院分まで子ども医療費の助成対象を拡大した場合の経費など、実施に向けての課題について、整理・検討を行なっていきたいと考えている。

- その他の質問
- 子ども医療費等の窓口無料化を
 - 学校トイレの改修について

日本共産党 橋詰 圭一 議員

高齢者の「生活交通」について

(質問) 車に乗れなくなったら、買い物にも病院にもどこにも行けない、何とかしてほしいという声が多く聞かれるようになってきた。そのような声は、高齢者福祉の部署に届いているのか。三重県玉城町では、オンデマンド式の「元気バス」で「出かけさせる」という外出支援サービスを展

開することによって、町民に喜ばれるとともに、増え続ける医療費の削減にもつなげている。このような小型バスを鈴鹿でも走らせてはどうか。

(答弁) 高齢になって運転ができなくなると、通院や買い物が不便になるとの声や、加齢に伴い交通安全に不安を感じている方が多数みえることは認識しており、高齢者福祉部局でも課題として認識している。小型オンデマンドバスの導入に当たっては、公共交通のあり方をどうすべきであるかが前提になる。